帝王切開術を受けられる患者様へ

患者様用

患者氏名：　　受け持ち医師：　　受け持ち看護師：

項目＼月日	／ 手術前日	／ 手術当日	／ 手術後　1日目	／ 2日目	／ 3日目	／ 4日目	／ 5日目	／ 6日目	／ 7日目	／ 8日目
達成目標	理解できないことや不安なことを表出し、精神面、身体面を整えて手術に臨むことができる	・術後の合併症がなく、子宮の復古や身体の状態が良好に経過できる ・母児同室を行い、必要な育児の技術を獲得できる								発熱(38℃以上)がない 退院後の生活の留意点が言える
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	・お腹の張りと赤ちゃんの状態をみるモニター(胎児心拍モニター)をつけます ・看護師が内診台で手術の妨げになる毛を除毛します ・手術に必要なものを準備します ・手足の爪を切り、マニキュアを落としてください ・指輪、ネックレス、ピアスを外してください ・患者様確認のためネームバンドと母児標識ネームバンドを右手に装着します 	＜手術前＞ ・胎児心拍モニターをつけます ・パンツ、ブラジャーをはずし、緑の術衣を着用します。性器出血があるときや破水しているときは、T字帯とパットを着用します ・弾性ストッキングを着用します ・水分を補給するため、必要時、点滴を行います ・コンタクトレンズ、めがね、入れ歯を外してください ・医師、看護師と一緒に車椅子もしくはストレッチャーで手術室に行きます ＜手術後＞ ・手術室からベッドで部屋に戻ります ・看護師が定期的に全身状態の観察を行います ・深部静脈血栓症予防のためにフットポンプを装着します ・感染を予防するために抗生剤の点滴をします ・痛みが強いときには鎮痛剤の注射をします ・背中に痛み止めのチューブが入っています。引っ張らないように気を付けてください	・傷の消毒を行い、ドレッシング剤(創傷被覆剤)を貼ります ・悪露が溜まっていないかを診察します ・引き続き弾性ストッキングを着用します ・ベッド上ではフットポンプを装着します ・お食事がとれるようになったら点滴を抜きます。抗生剤の点滴をします 	・背中から痛み止めのチューブを医師が抜きます ・痛みが強いときには鎮痛剤の内服をします ・抗生剤の点滴をします 			・5日目検診を行います		・ドレッシング剤を剥がし、傷を留めている金具を外します 	・退院診察(母児ともに)を行います
検査	・心電図・胸部レントゲンを撮ります	・採血をします	・採血をします					・採血をします		
活動・安静度	・制限はありません	・ベッド上安静です。一人で起き上がらないでください	・ベッドの頭の方を序々に上げていき、可能であれば歩きます	・トイレまで歩行します	・制限はありません	・制限はありません	・制限はありません	・制限はありません	・制限はありません	
食事	・夕食まで食べた後は麻酔科の指示に従ってください	・飲水、食事はできません ・うがいはできます	・腸の動きを見て水分摂取または7分粥食から開始します。それまでは飲水、食事はできません	・粥食が始まります 	・粥食又は普通食を食べます	・普通食が始まります 	・普通食	・普通食	・普通食	
清潔	・除毛した後に入浴して下さい	・眠前に歯みがきをし顔を拭きます	・体拭きを看護師が一緒に行います 	・体拭きを行います	・傷の状態が良ければシャワー浴ができます	・シャワー浴をします	・シャワー浴をします	・シャワー浴をします	・シャワー浴をします	
排泄		・手術中に尿を出すための管が入ります	・尿の管が入った状態か管を抜いた場合はトイレまで歩行します	・尿の管を抜いた後はトイレ歩行を行います 	・トイレ	・トイレ	・トイレ	・トイレ	・トイレ	
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	・入院生活についてお話をします ・手術の必要物品や術後の流れについてのお話をします ・麻酔科の医師が麻酔について説明します ・手術室看護師が前日訪問をします ・主治医より本人・ご家族への手術の説明を行います。その後、手術同意書に署名、捺印していただきます	・血栓を予防するために、膝が曲がるようになれば足首のそり返しや足の曲げ伸ばしをしましょう	・SMC(乳房マッサージ)、授乳指導をします 	・SMC(乳房マッサージ)、授乳指導をします ・沐浴指導(見学)をします ・母児同室に関する指導をします	・母児同室に関する指導をします ・沐浴指導(実施)をします ・月曜日または退院日までに退院後の生活や赤ちゃんの育児についてお話します ・金曜日：調乳指導(ミルクの作り方、産後の栄養についての話)があります					・手術の傷の治りが悪い、痛みが増してくる、38℃以上の発熱や乳房にトラブルがでてきた場合は病棟に連絡してください 産婦人科直通 0985－85－1746
その他	・手術に必要な物品 パスタオル1枚、お産セット、腹帯 ・深部静脈血栓症を予防するための弾性ストッキングをお渡しします	・手術室からの連絡は全て病棟に入りますので、ご家族の方は4階のエレベーター前のソファーか病棟でお待ち下さい ・貴重品はご家族に預けるか金庫に入れて下さい(鍵はご家族かナースステーションに預けてください)	・看護師が赤ちゃんを面会にお部屋へお連れします	・お母さんの状態をみて母児同室を行います ・赤ちゃんにビタミンK2のシロップをあげます。 ・希望のある方のみ同意を得た後に、赤ちゃんの聴覚検査を行います	・母児同室(24時間)が始まります		・赤ちゃんにビタミンK2のシロップをあげます ・赤ちゃんの先天代謝異常の検査を行います			・11時退院予定です ・1ヶ月検診の外来受診日を確認して下さい

宮崎大学医学部附属病院